

混じりあう仏教説話画

— 淵之坊本善光寺如来絵伝の世界 —

語り： 鷹巢 純 (愛知教育大学美術教育講座教授)

善光寺の阿弥陀三尊像（善光寺如来）は、日本で最も知られた靈験仏のひとつです。

この仏像が現代にいたるまで大変な人気を維持してきた背景には、既存の説話から「いいところ取り」して作られた、巧妙な縁起説話の存在がありました。

善光寺の宿坊・淵之坊が所蔵する善光寺如来絵伝は、そこからさらに「いいところ取り」して作られた、善光寺如来説話の進化系です。

淵之坊本善光寺如来絵伝を通して、絵画で説話を語るということについて考えてみましょう。

2019年10月4日（金） 午後6時～

名古屋大学中央図書館2階ディスカバリスクエア

参加無料

申込不要

会員以外も歓迎

名古屋大学附属図書館友の会

TEL 052-789-3684

FAX 052-789-3694

E-Mail tomo@nul.nagoya-u.ac.jp

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/tomo/>

(後援)

名古屋大学附属図書館,
同研究開発室

